

平成28年6月3日

徳島大学病院ホスピタルギャラリーbe 展示のご案内

徳島大学病院[病院長：永廣 信治（ながひろ しんじ）]では、ホスピタルギャラリーbeにおいて、武蔵野美術大学の学生たちが「手がかり」というテーマで制作した作品を展示しています。

## (報道概要)

1. タイトル：「手がかり」展
  2. 期 間：平成28年5月30日(月)～平成28年9月24日(土)
  3. 場 所：ホスピタルギャラリー「be(び・い)」  
(徳島大学病院西病棟1階ロビー)
  4. 主 催：徳島大学病院
  5. 協 力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科
- ※添付資料(ポスター)をご参照ください

今回、展示したのは「手がかり」というテーマをもとに、武蔵野美術大学基礎デザイン学科2年生が「形態論 II」という授業で制作してきた課題作品です。日常品はすべてなんらかのアイデアによって生産されています。ふだん意識しないで使っている製品も、動作や機能性や使い勝手を考慮してデザインされたもの。

とりわけ、手で触れる取っ手やドアノブ、ふすまの引手などは、握りやすさや開けやすさ、引きやすさを考慮した「手がかり」そのものが「かたち」になったものといえます。

「手がかり」にはもうひとつの大切な意味があります。それはデザインを考える人が「かたち」を生み出すためのいとぐちの発見。さらにはデザインを使う人の記憶や経験をひきだし、行為をいざなう「かたち」でなければなりません。

美大生たちが半年間、「手がかり」とはなんだろう?と真剣に取り組んできた作品をぜひご鑑賞ください。

このことにつきまして、報道下さいますようお願いいたします。

## お問い合わせ先

部局名 徳島大学病院  
責任者 病院長 永廣 信治  
担当者 病院総務課広報・企画係(大崎)  
電話番号 088-633-5119  
メールアドレス bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp



# 「手がかり」展

武蔵野美術大学の学生たちが「手がかり」というテーマで制作した作品を展示しています。

2016 5/30 [月] - 9/24 [土]

主催：徳島大学病院 協力：武蔵野美術大学基礎デザイン学科

Hospital  
Gallery

be

ホスピタル ギャラリー「ビー」  
徳島大学病院 西病棟1階ロビー

今回、展示したのは「手がかり」というテーマをもとに、武蔵野美術大学基礎デザイン学科2年生が「形態論II」という授業で制作してきた課題作品です。日用品はすべてなんらかのアイデアによって生産されています。ふだん意識しないで使っている製品も、動作や機能性や使い勝手を考慮してデザインされたもの。とりわけ、手で触れる取っ手やドアノブ、ふすまの引手などは、握りやすさや開けやすさ、引きやすさを考慮した「手がかり」そのものが「かたち」になったものといえます。「手がかり」にはもうひとつの大切な意味があります。それはデザインを考える人が「かたち」を生み出すためのいとぐちの発見。さらにはデザインを使う人の記憶や経験をひきだし、行為をいざなう「かたち」でなければなりません。美大生たちが半年間、「手がかり」とはなんだろう?と真剣に取り組んできた作品をぜひご鑑賞ください。

基礎デザイン学科教授 板東孝明・柴田文江